

核兵器の廃絶と平和な社会の実現をめざして 「高校生1万人署名活動」を一緒にしませんか？

第14代高校生平和大使 高田高校3年菊池将大、2年佐々木沙耶

東日本大震災の記憶は未だ残酷なほど鮮明に甦ってきます。当時はあまりの状況の悲惨さに自分自身何をしたらよいか分からず、ただただ立ちつくしているのが精一杯の日々でした。

そんな中「高校生平和大使」のお話をいただき、「高校生1万人署名活動」に関わることができました。自主的に活動する同じ高校生の姿に驚くとともに、とても興味をもちました。

この活動は「核兵器廃絶と平和な社会の実現」をめざして行われているものです。また、署名以外にも、災害が起きた時には募金活動を行い、長崎では東日本大震災の被災者の方々に向けたメッセージカードを書いていたいたりしています。

私たちは、この活動を岩手県でも広めていきたいと考えています。

「高校生1万人署名活動実行委員会・岩手」について

私たちは「高校生平和大使」として国連に派遣され、核兵器廃絶と平和な社会の実現、東日本大震災への世界中からの支援への感謝と継続、そして国際連帯を訴えました。ベルン市では市民に署名を呼びかけ、被災地へのメッセージもお願いし、多くの市民からの署名と励ましの言葉をいただきました。国際連帯と核兵器の廃絶と平和な社会の実現は、世界中の人々の願いであることを確信しました。



国連でスピーチする平和大使

被爆地の願いと被災地の思い

長崎・広島の人たちの願いを発信するとともに、東日本大震災の被災地の岩手、東北から人と人がつながることの尊さと、国際連帯の大切さを訴えていきたいと思えます。私たち中学・高校生のとりくみで、岩手、東北、日本、世界の平和と人々が安心して暮らせる社会の実現を訴えていきたいと思えます。

全国に広がる高校生1万人署名

長崎から始まった高校生1万人署名活動は、全国各地で「高校生1万人署名活動実行委員会」を立ち上げ、地道な署名活動にとりくんでいます。

被災地の思いを

「微力だけど、無力じゃない」を合言葉に、私たちも核兵器の廃絶と平和な社会の実現、そして被災地の今と復興にがんばる人たちの声を世界に届け、国際連帯を呼びかけることをめざして、実行委員会を岩手で結成することにしました。一緒に活動し、全国の高校生、そして世界の人々たちとともに平和の尊さと国際連帯の大切さを一緒に訴えていきましょう！



長崎市内での署名活動